

第3期千葉県教育振興基本計画

次世代へ光り輝く 「教育立県ちば」プラン



ちばの教育の力で「県民としての誇り」を高める!
「人間の強み」を伸ばす!
「世界とつながる人材」を育てる!

はじめに



千葉県は、首都圏に位置し、豊かな自然環境や世界に誇れる社会基盤、バランスの取れた産業構造など、様々なポテンシャルに溢れています。

こうしたポテンシャルを最大限に発揮させることで、県民の皆様が「くらし満足度日本一」を感じ、次世代に誇れるような「日本一の光り輝く千葉県」を実現することができると考えています。

そのためには、千葉県、そして日本の未来を担う子供たちが、「強く、美しく、元気な心」を育み、社会で自立し、自らを積極的に役立て生かしていこうとする態度や能力をしっかりと育てていくことが大切です。

一方で、I o Tやビッグデータ、A I等の技術革新の進展、少子高齢化の進行や地域間格差の拡大など、本県の教育をとりまく環境は日々変化し、子供たちの体力低下や児童虐待事案の発生などの様々な課題も生じています。

また、国においても、総合教育会議の設置などの教育委員会制度の改革や、小・中・高・特別支援学校の各学習指導要領の改訂、これに伴う道徳の教科化、小学校における外国語の教科化など、様々な取組が進められています。

千葉県では、こうした状況を踏まえながら、本県の様々な教育課題への議論を深めていくため、平成30年度に「次世代へ光り輝く『教育立県ちば』を推進する懇話会」、令和元年度に「次世代へ光り輝く『教育立県ちば』を実現する有識者会議」を設置し、専門家などの方々から御意見をいただいております。

そして、多くの県民の皆様からの御意見も踏まえ、このたび第3期教育振興基本計画として、「次世代へ光り輝く『教育立県ちば』プラン」を策定いたしました。

本計画においては、千葉県が持つ教育のポテンシャル、すなわち「ちばの教育の力」で、「子供たちの『県民としての誇り』を高め、『人間の強み』を伸ばし、『世界とつながる人材』を育てる」という基本理念の下、志を持ち、未来を切り拓く、ちばの子供の育成、「自信」と「安心」を育む学校の構築、家庭と地域の絆きずなを深め、全ての人々が活躍できる環境の整備、そして、世界を舞台に活躍する人材の育成と「楽しい」「喜び」に満ちた豊かな社会の創造を施策の柱としています。

本計画に基づき、教育委員会をはじめ、学校や保護者、多くの関係者の方々と共に質の高い教育を確立し、子供たちが「千葉に生まれ、千葉に住み、千葉で学んで本当によかった」と胸を張って言えるように、千葉県の未来をより一層輝きに満ちたものにしていくことを目指して、全力で取り組んでまいります。

令和2年2月

千葉県知事

森田健作

ちばの教育の力で「県民としての誇り」を高める！ 「人間の強み」を伸ばす！「世界とつながる人材」を育てる！

千葉県では、平成27年2月に第2期教育振興基本計画「新 みんなで取り組む『教育立県ちば』プラン」を策定しました。この計画では、平成22年3月に策定した第1期教育振興基本計画「みんなで取り組む『教育立県ちば』プラン」で描いた「千葉県教育の目指す姿」を継承しつつ、これらを実現するための3つの大目標（プロジェクト）や施策の方向性を示しつつ、当面の5年間（平成27～31年度）に実施する重点的な取組を盛り込み、具体の施策を展開してきたところです。

この間、国においては、平成27年4月、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正に伴う教育委員会制度の改正、平成29年3月に小・中学校の、平成30年3月には高等学校の新学習指導要領の告示など、教育改革をめぐる様々な動きがありました。また、平成30年6月、「夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力の育成」など4つの基本的な方針からなる第3期の教育振興基本計画が策定されました。

県教育委員会では、こうした国の状況を踏まえながら、県の第3期教育振興基本計画を策定するため、平成30年度には「次世代へ光り輝く『教育立県ちば』を推進する懇話会」、令和元年度には「次世代へ光り輝く『教育立県ちば』を実現する有識者会議」を開催し、本県の教育課題を整理するとともに、今後の本県教育の施策や取組について、大所高所から御意見をいただきました。また、教育関係者からの意見聴取や、パブリックコメントなどを通して、県民の方々からも数多くの御意見をいただいております。

こうした多くの御意見を踏まえながら、ここに、第3期教育振興基本計画「次世代へ光り輝く『教育立県ちば』プラン」を策定することができました。

ここでは、千葉県の持つ教育のポテンシャル、すなわち「ちばの教育の力」により、「『県民としての誇り』を高める！『人間の強み』を伸ばす！『世界とつながる人材』を育てる！」ことを基本理念に定め、「志を持ち、未来を切り拓く、ちばの子供を育てる」、「『自信』と『安心』を育む学校をつくる」、「家庭と地域の絆きずなを深め、全ての人々が活躍できる環境を整える」、「世界を舞台に活躍する人材を育成し、『楽しい』『喜び』に満ちた豊かな社会を創る」の4つを計画の基本目標としました。

さらに、この基本目標の下、「学力向上」、「読書」、「ICT活用」、「キャリア教育」など、子供たちに将来求められる資質・能力の育成に関する取組を一つに集約して重点施策にするとともに、第2期計画では別々の施策に分かれていた、様々な困難を抱えた児童生徒や家庭へのきめ細かな支援に関する取組を一つにまとめ、新たに重点施策として位置づけています。加えて、学びの質を高め、情報活用能力を育成する「ICT利活用の推進」を新たな取組として位置づけました。

令和2年度には、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、本県もオリンピック4競技・パラリンピック4競技の会場となります。また、第5回目となるちばアクアラインマラソンにいまるにいまる2020が開催されるなど、本県が全国から、世界から注目される年になります。

これを契機に、子供たちが将来、郷土や世界で活躍することができるよう、学校、家庭、地域において、全ての県民がつながり、かかわることにより、さらに大きな教育力として、「教育立県ちば」の実現を目指していきます。

令和2年2月

千葉県教育委員会

目次

第1章 計画策定の基本的な考え方	1
1 計画策定の趣旨	2
2 計画の性格	3
3 計画の期間	3
4 策定のプロセス	3
第2章 千葉県教育の目指す姿	5
1 千葉県教育をめぐる現状と課題	6
(1) AIなど技術革新の進展や Society5.0 への対応	6
(2) 自己肯定感、自尊感情の向上	8
(3) 誰一人取り残さない教育の実現	10
(4) 人口減少・少子高齢化の進行や地域間格差への対応	12
(5) コミュニティ・スクール導入など地域コミュニティの充実	14
(6) 教員の多忙化と働き方改革	15
(7) 子供をめぐる重大事案の発生	16
2 第2期計画の検証	17
(1) 第2期計画全体の達成状況	17
(2) 第2期計画の課題と対策	19
3 第3期計画の「基本理念」	23
4 第3期計画の「基本目標」	24
第3章 第3期千葉県教育振興基本計画の施策・取組	29
1 第3期千葉県教育振興基本計画の施策体系	30
2 今後5年間に実施する施策と主な取組	
基本目標1 ちばの教育の力で、志を持ち、未来を切り拓く、ちばの子供を育てる	
施策1 人生を主体的に切り拓くための学びの確立	34
施策2 道徳性を高める心の教育の推進	39
施策3 生涯をたくましく生きるための健康・体力づくりの推進	42
施策4 共生社会の形成に向けた特別支援教育の推進	44
基本目標2 ちばの教育の力で、「自信」と「安心」を育む学校をつくる	
施策5 人間形成の場としての活力ある学校づくり	46
施策6 教育現場の重視と教員の質・教育力の向上	50
施策7 多様なニーズに対応した教育の推進	52

基本目標 3	ちばの教育の力で、家庭と地域の絆を深め、 <small>きずな</small> 全ての人活躍できる環境を整える	
施策 8	家庭教育への支援と家庭・地域との連携・協働の推進	55
施策 9	人生 100 年時代を見据えた生涯学習の推進	58
基本目標 4	ちばの教育の力で、世界を舞台に活躍する人材を育成し、 「楽しい」「喜び」に満ちた豊かな社会を創る	
施策 10	郷土と国を愛する心と世界を舞台に活躍する能力の育成	61
施策 11	「するスポーツ」「みるスポーツ」「ささえるスポーツ」の推進	64
第 4 章	計画の推進にあたって	67
1	県民一体となって取り組む体制づくり	68
(1)	これからの教育行政	68
(2)	多様な主体との連携と協働	68
(3)	教育投資の充実	69
2	計画の進捗管理	69
(1)	千葉県教育の「あるべき姿」	69
(2)	施策実施指標	70
資 料 編		73